



震災復興応援旗贈呈



ブラジル日系老連紹介



閉会のことば



次回大会開催地挨拶



大会宣言

いときに平和の大切さを身にしみ育て育った世代」として、「それぞれの高齢者が幼いときに、あるいは青年のときに体験したことを次代に伝えていくことは、我が国のために極めて大切なこと」と述べられました。陛下の穏やかでしみいる口調は、参加者の胸に深く刻まれる「おことば」となりました。

続いて三井辨雄厚生労働大臣の主催者挨拶、老人クラブ活動に貢献された個人・団体の表彰が行われました。厚生労働大臣表彰では、受章者218名を代表して埼玉県の加藤清正さんに、また全国老人クラブ連合会会長表彰では、受章者234名を代表して東京都町田市老人クラブ連合会に、厚生労働大臣及び全老連会長から表彰状が授与されました。

また公務ご多忙な中をご出席いただいた野田佳彦内閣総理大臣、横路孝弘衆議院議長、平田健二参議院議長のご来賓からは、これまでの活動に対する高い評価をいただきとともに、今後の超高齢社会における老人クラブへの期待が込められた祝辞を頂戴しました。

このように第一部では、創立50周年の節目にふさわしい厳粛な式典が挙行されました。

歓迎の意を込めたアトラクションでは、東京都の老人クラブ3団体による踊りが披露されました。また遠く南米からこの大会に参加された五十嵐司ブラジル日系老連会長と、全老連会長表彰を受章したブラジリア日系老人クラブの桜井久美子エレナさんが紹介されました。

第二部では、「いま、日本に求められるもの——歴史から学ぶ人間関係」と題して、作家・童門冬二先生による記念講演が行われました。続いて、東京都の永井愛子さんが高らかに大会宣言を朗読して、満場の拍手で採択されました。

また全国の老人クラブ関係者の願いを込めて行われた震災復興応援旗の贈呈では、中保昌全老連副会長から岩手県、宮城県、仙台市、福島県の被災4県市老連の会長に、都道府県・指定都市老連からのメッセージが記された応援旗が贈呈されました。この応援旗は、特に被災の大きかった46の市区町村の連合会にも贈られることになっています。

最後に、次年度第42回大会の開催地である菅野満岩手県老連会長の挨拶、大西早苗全老連副会長の「閉会のことば」で結ばれ、記念大会の全日程が盛会裏のうちに終了しました。



司会



天皇皇后両陛下の御臨席のもと 創立50周年記念大会を開催



開会のことば



全老連創立50周年記念全国老人クラブ大会は、10月4日、東京・日比谷公会堂において、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、全国から2,000名の会員が参集して開催されました。

元NHKエグゼクティブアナウンサー・加賀美幸子氏の司会によって進められ、第一部式典では、参加者一同が起立して天皇皇后両陛下をお迎えし、国歌斉唱ののち増田時枝東京都老連会長の「開会のことば」によって幕が開けられました。

はじめに斎藤十朗全老連会長の式辞では、「老人クラブ活動を活性化していくことが明るく豊かな長寿社会を創ることになる。50周年を新たな門出として一層努力していこう」との力強い決意が述べられました。

ご臨席された天皇陛下は「おことば」のなかで、「多くの高齢者が老人クラブの活動を通じて、子どもたちや若い世代と交流しながら積極的に社会参加を進めていることは心強い」と述べられ、「老人クラブが豊かで活力ある社会を築くために引き続き大きな役割を果たす」ことへの期待が寄せられました。

さらに陛下は、「高齢者は——私もその一人ではありますが——と前置きされ、一若